

# 出資法人等経営状況報告書

## 1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和6年8月23日	担当部署	産業部 産業政策課
-------	-----------	------	-----------

※以下は令和6年3月31日現在の内容です。

## 2 法人等の概要

法人名	有限会社 やまざくら		
代表者	代表取締役 飯田 多津子		
	<input type="checkbox"/> 常勤	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市大島区大平 3874 番地 1		
設立年月日	平成9年7月14日		
資本金	11,600 千円	市出資割合	98.3%
設立目的	上越市の食料品等販売施設「大島やまざくら」の管理運営を通じ、若者を中心とする人口流出による過疎化が進む大島区において、生鮮食料品の販売を中心とした営業を展開し、住民生活の利便の向上を図る。		
主な事業	(1) 大島やまざくらの管理 (2) 大島やまざくらの運営（穀類、農産物、山菜、花卉、食料品、清涼飲料水、日用品雑貨、酒類及びたばこの販売） (3) 移動販売車による食料品等の販売		

## 3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
取締役	0	2	2	2	0	0
監査役	0	1	1	1	0	0
計	0	3	3	3	0	0

## 4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	2	2	0
その他	3	3	0
計	5	5	0

## 5 事業実績（概要）

### 【第 27 期の経営状況】

- ・ 第 27 期（令和 5 年度）の売上高は、前期と比較して 2,841 千円増（4.9%の増）の 60,249 千円となりました。店舗では、周辺人口の減少等により利用者数が 1,040 人減少しましたが、品揃えの充実や販売価格の見直しにより客単価が上昇したことから、売上高は 1,495 千円増加しました。また、移動販売では、販路開拓などにより利用者数が 519 人増加し、売上高も 1,346 千円増加しました。
- ・ 売上原価は、前期と比較して 2,601 千円増の 43,572 千円となり、売上高原価率（指定管理料を除く売上高に占める売上原価の割合）は、前期と比較して 0.7%増の 77.8%でした。
- ・ 販売費及び一般管理費は、光熱費等の削減に努めましたが、物価高騰の影響もあり 51 千円増の 17,064 千円となりました。
- ・ この結果、営業利益は△387 千円、経常利益は△9 千円と赤字となりましたが、エネルギー価格等の高騰に対する市の各種補助金など特別利益が 562 千円あったことから、当期純利益は 271 千円を計上し、10 期連続の単年度黒字となりました。また、第 27 期末の純資産は 15,223 千円となりました。

### 【第 27 期の主な取組】

- ・ 前期に引き続き、生鮮食品等の廃棄ロスの削減等に取り組みました。
- ・ 移動販売では、販路を拡大したほか、利用者の需要に応じた仕入れに取り組みました。

### 【売上高の実績】（税抜）

（単位：千円）

部門	第 25 期	第 26 期	第 27 期	
	実績	実績	目標	実績
店舗	43,335	42,294	43,035	43,789
移動販売	10,736	10,835	10,605	12,181
指定管理料	4,245	4,279	4,279	4,279
合計	58,316	57,408	57,919	60,249

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

### 【利用者数の実績】

（単位：人）

部門	第 25 期	第 26 期	第 27 期	
	実績	実績	目標	実績
店舗	35,002	34,343	36,500	33,303
移動販売	5,130	4,731	5,600	5,250
合計	40,132	39,074	42,100	38,553

6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項 目		第 25 期	第 26 期	第 27 期
		自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日	自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日	自 令和 5 年 4 月 1 日 至 令和 6 年 3 月 31 日
損益計算書	売上高	58,316	57,408	60,249
	売上原価	41,313	40,971	43,572
	売上総利益	17,004	16,436	16,677
	販売費及び 一般管理費	17,062	17,013	17,064
	営業利益	△59	△577	△387
	営業外収益	825	377	379
	営業外費用	2	1	1
	経常利益	765	△200	△9
	特別利益	0	479	562
	特別損失	0	0	0
	税引前当期純利益	765	279	553
	法人税等	304	253	282
当期純利益	461	25	271	
項 目		令和 4 年 3 月 31 日現在	令和 5 年 3 月 31 日現在	令和 6 年 3 月 31 日現在
貸借対照表	資 産	17,842	17,689	19,197
	負 債	2,915	2,737	3,974
	純資産	14,927	14,952	15,223
	資本金	11,600	11,600	11,600
	利益剰余金	3,327	3,352	3,623
その他	0	0	0	

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

## 7 市からの財政支出等

### (1) 委託額 (税込)

(単位: 千円)

内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
① 大島やまざくら 指定管理料	4,670	4,707	4,707	
② 大島ゆきわり荘 施設維持管理業務委託 料	462	0	0	令和3年度末で施設廃止
計	5,132	4,707	4,707	

### (2) 財政援助額 (税込)

(単位: 千円)

内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
① 補助金 (助成金)	0	200	400	
エネルギー価格高騰支 援金	0	200	400	
② 貸付金	0	0	0	
③ 損失補償	0	0	0	
④ 債務保証	0	0	0	
⑤ その他 (補填金)	0	278	161	
エネルギー価格高騰補 填金	0	278	161	
計	0	478	561	

## 8 市以外からの補助金・助成金等

### (1) 受給額 (税込)

(単位: 千円)

内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
①				
②				
③				
④				
⑤				
計	0	0	0	

## 9 今後の経営計画等

### (1) 次期事業計画

第28期は、売上高59,460千円、営業利益22千円、当期純利益100千円の計上による11期連続の単年度黒字を目標に、次の取組を行います。

#### <店舗部門>

- ・店舗バックヤードの空きスペースに憩いの場を提供することで、地域住民とのコミュニケーション強化を図り、販売増加につなげる。
- ・商品が分かりやすく見やすいように見出しを掲出するなど、より一層売れる売り場作りを図る。
- ・各地の特産品などを仕入れ、新規顧客の獲得、来店の動機付けに取り組むほか、特売を行い、来客数・売上高の増加につなげる。
- ・国道通行者へのアピール強化（のぼり旗設置等による視認性の向上）を図る。

#### <移動販売部門>

- ・店舗までの移動手段がない高齢者等に対し、希望する商品の速やかな入荷を心がけるとともに、戸別単位での見守りを兼ねたきめ細かなサービス提供を行う。
- ・介護施設等への訪問販売や、大島区以外への移動販売エリア拡大など、利便性をアピールし売上増加につなげる。

#### 【目標売上高】

(税抜：単位：千円)

期	店舗	移動販売	指定管理料	合計
第28期	41,500	12,001	5,959	59,460

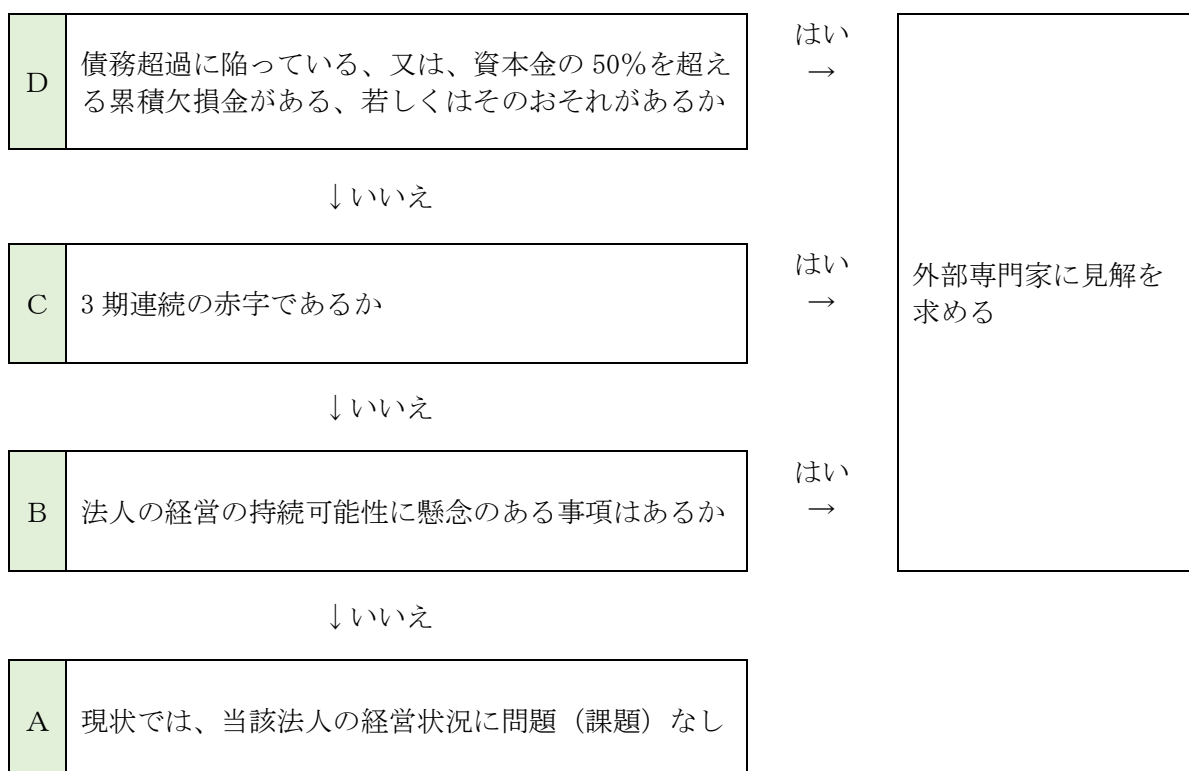
### (2) 中長期経営計画

なし

10 令和6年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクターの経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクターに対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、外部専門家に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	A	→ BからD評価の法人は(2)へ
<p>【特記事項】 特になし</p>		